

# たましま協同病院だより

**玉島協同病院**

倉敷市玉島柏島5209-1

電話(086) 523-1234

<http://www.tamakyo.com/>

発行責任者 青木弘人

〔病院理念〕玉島とその周辺の地域で暮らす人々が、疾病・障害のあるなしにかかわらず、その人らしく輝いて暮らせ、安心して一生を終えることを支援する医療機関でありたいと願います

## 謹賀新年2026 新年のご挨拶

世界各地では紛争が続き、格差や貧困、温暖化や環境汚染など健康に対する脅威が増えています。わが国でも社会保障費の伸びが抑えられる中、地域では高齢化が進んでおり医療・介護・福祉の役割はますます高まっています。

玉島協同病院は今後も様々な課題に対して、職員の知恵と力を結集し、地域の皆さまがその人らしく輝いて暮らせることを支援する医療機関としてその役割を果たせるよう頑張ります。本年もよろしくお願いいたします。

院長 進藤 真

2014年12月の移転から12年目になりました。干支にすると丁度一回りとなります。当地へ開院以来、透析医療の開始、在宅医療の強化・連携を中心に取り組みをすすめてきました。この間、多くの組合員・地域の皆さまをはじめ、多くの医療機関・介護福祉施設などに支えられてきました。高齢化と人口減少が加速する中、私たち医療機関を取り巻く環境には様々な困難が生じていますが、午年にあやかり力強く、皆さまから必要とされる医療機関として前進したいと思います。引き続きご支援・ご協力の程、宜しくお願い致します。

事務長 青木 弘人

旧年中は患者さま、ご家族の皆さま、そして組合員、地域の皆さまより温かいご支援とご理解を賜り心より感謝申し上げます。昨年は変化する医療環境の中、病院理念・看護部理念を基軸に「看護が大切にしなければならないこと」を考えながら活動を続けてきました。本年も「玉島協同病院らしさ」を忘れず、そして引き続き「看護が大切にすること」を考えながら患者さま一人ひとりの思いに寄り添い心温まる看護の提供に努めてまいりたいと思います。皆さまにとって健康で笑顔あふれる一年になるよう祈念いたしまして新年のご挨拶とさせていただきます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

看護部長 岡田 沙織



訪問診療の同行

玉島地域での地域医療研修を通じて、医療資源の乏しさと住民の高齢化の進行を強く実感しました。診療所や病院までの距離や交通手段の問題から、そもそも「病院に來られない」患者さんが少なくないことを目の当たりにし、医療へのアクセスそのものが大きな課題であると感じました。これは玉島だけの特殊な事情ではなく、日本各地の地方や中山間地域でも共通する構造的な問題である。

また、医療資源が限られているからこそ、「自分ひとりでどこまで対応できるか」の重要性も痛感しました。内科医であっても、創傷の評価や処置を含め、ある程度の外科的技術を的確にこなす力が求められます。専門分化が進む一方で、地域ではむしろ幅広い総合

と考えるさせられませんでした。そのような状況の中で、積極的に訪問診療を行うことは、まさに地域医療の真髄だと感じました。自宅での患者さんの様子は、病院で白衣を前にした姿とはまったく異なり、表情も生活の雰囲気も含めて、その人らしさがより色濃く表れていました。家の中の動線、薬の置き場所、家族との関わり方など、カルテの情報だけでは見えてこない背景を知ることができたのは非常に新鮮であり、今後の診療姿勢にも大きな影響を与える経験となりました。



班会に参加する昆医師

力が必要とされており、自分の技術と判断の幅を広げていくことが、住民の安心につながると感じました。

今回の地域医療研修を通じて、病院という枠を超え、生活の場に根ざした医療のあり方を肌で学ぶことができました。今度の研修や診療に活かして、どの地域においても患者さんに寄り添える医師を目指していきたいと思っています。

(初期研修医

昆 亮明)

地域医療研修で学ぶ  
生活の場に根ざした医療のあり方



## 中学生事業所訪問

## 玉島を支える人たちを知る

10月24日（金）、玉島西中学校のみなさんが事業所訪問に来られ、今年是一般病棟と訪問看護ステーションを見学し、実際に病院で働くスタッフからの説明を聞いてもらいました。見学の後はインタビュータイムを設け、生徒さんからの様々な質問に、当院のソーシャルワーカー、看護師が答えさせていただきました。参加した生徒さんからは、「命を預かる大事な仕事していることが分かった」「医療に関する興味がより高まった」などの感想が寄せられました。今後、進路を考えていく上で、今回の経験を活かしてもらえたら嬉しく思います。

（地域医療・ケアサポートセンター 柳瀬 佳奈）



インタビューの様子



病棟師長による発表の様子

島協同病院、玉島協同病院のスタッフが準備を行いました。全国から100名以上の参加があり、大いに盛り上がりました。当院からも進藤院長をはじめ、多職種が参加し、院内での取り組みを報告してきました。

心不全をはじめとする循環器疾患の死亡数は増加しており、重症化させないためには、医師だけでなく多職種による介入が必要となっています。当院でも多職種でチームをつくり活動しています。今回の懇話会で学んだ事を今後の取り組みに活かしていきたいと思っています。

（心不全チーム  
大地 和樹）

10月31日、11月1日に全日本民医連循環器懇話会が開催されました。年に1度、全国の民医連のスタッフが集まり、循環器疾患の症例報告や各院



心不全チームのメンバー

## 全日本民医連循環器懇話会に参加

玉島協同病院は今後も部屋代はいただきません／カルテを開示しています

## 加集万里子のお料理教室

シリーズ204

## 簡単カルボナーラ



## 材料 (3~4人分)

- ♥ パスタ……………300~400g
- ♥ 茹でる時の塩…… 大さじ2
- ♥ ハムか生ハム……………1パック
- ♥ 仕上げの黒コショウ…… 少々
- ♥ オリーブオイル (あれば) …… 少々

- ♥ ソース♥
- ♥ 生クリーム 150~200cc
- ♥ 卵…………… 全卵1+卵黄1
- ♥ チーズ (お好みの) …… 100gくらい
- ♥ コンソメ顆粒 …… 小さじ1

## 作り方

- ① パスタを30分前から水に浸しておく。(もちもち食感になる) ハムか生ハムを1cm角に切る。
- ② 大きめのボールにソースの材料を合わせておく。(チーズは粉チーズととろけるチーズを混ぜるとコクが出て美味しいです) 切ったハムか生ハムを加える。
- ③ パスタをお好みの硬さに茹でて、ゆで汁が垂れる位でソースに加えてよく混ぜる。(ゆで汁の塩気が味付けになります)
- ④ あればオリーブオイルをぐるっと回しかける。皿に盛り付けてから黒コショウを少々振る。

付け合わせにグリーンサラダを添えて (好きな野菜で) レタス、きゅうり、トマトなどを食べやすく切り、レモン汁 (好きな酢)、塩コショウ、オリーブオイル (好きなオイル) 少々を少しずつかけて全体を混ぜる。



卵、チーズ、生クリームを合わせておいしく茹でたパスタをからめるだけで美味しいカルボナーラが作れます。具材にハムや生ハムを使うと手軽です。

## 療養病棟で秋祭り



11月12日（水）、療養病棟で秋祭りを開催しました。リハビリ体操を行ったり、的当てゲームや御神輿をかついだりして盛り上がりました！

(1病棟)



Follow Us !

玉島協同病院  
公式Instagram

@tamashima\_kyoudou



玉島協同病院は無料低額診療事業を行っています。お気軽にご相談下さい。